

# 祝 三戸城跡 国史跡指定



戦国時代から江戸時代初頭にかけて北奥羽で最大の勢力を誇った三戸南部家の本城「三戸城跡」が、令和4年3月15日、国史跡に指定されました。

三戸城跡は、町中心部にそびえる標高約131メートルの独立丘陵（城山）に築かれた城跡です。当時の河川交通であった馬淵川と熊原川の合流点に位置することから、交易の要衝として早くから南部家の拠点となっていました。

文献によると、16世紀の中頃に24代南部晴政によって本格的な利用がはじまり、26代南部信直の治世の頃には奥州南部領の本城に位置付けていたとされます。城跡の要所には、当地方では珍しい石垣が築かれ、また、各門跡の出入り口は複雑に折れ曲がる「枅形道」<sup>ますがたみち</sup>を備えるなど、先進的な城郭遺構が残されています。

町では、この貴重な城跡を保存するため、平成16年度から、発掘や地質、歴史資料の総合調査を実施し、そこで明らかとなった歴史的価値について、令和2年度『三戸城跡—発掘調査総括報告書—』にまとめました。

令和3年12月に開催された国の文化審議会で「戦国末期から近世初頭における北東北の築城技術を知る上で重要」とし、三戸城跡を国史跡に指定するよう文部科学大臣に答申されました。そして令和4年3月15日、文部科学省の告示をもって国史跡に指定されました。

## 松尾和彦町長よりコメント

「三戸城跡」は、戦国時代に北奥羽一帯を治めた三戸南部家の拠点であったことから、重要な歴史遺産として、町民の心のよりどころとなっております。このたびの国史跡指定の知らせに触れ、大きな責務を果たした想いと同時に、この上ない喜びを感じています。

今後は「国史跡三戸城跡」の適切な保存と継承のための体制づくりを推進するとともに、城跡の歴史を内外に広く発信しながら、景観の整備に努めて参ります。また、地域経済の活性化につなげるよう観光的な魅力を高め、全国のお城ファンに楽しんでいただけるような取り組みも進めて参ります。

つきましては、今後とも、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【問い合わせ先】三戸町教育委員会事務局 ☎ 20-1157

SNSで町からの情報をお届けします。  
フォローや友だち追加、お願いします。  
Twitter、Facebook、LINE、Instagram



Twitter



Facebook



LINE



Instagram